

情報処理 (A 専門科目)

=====

科目名:

情報処理 (英文科目名: InformationProcessing)

2 単位 建築学科 3 年 通年 講義

担当教官:

山本嘉孝 (居室: 建築学科棟 2 階) Email:yamayosi@oyama-ct.ac.jp

松村光太郎 (居室: 建築学科棟 2 階) Email:kotaro@oyama-ct.ac.jp

授業目的:

Excel の基本的機能と応用力を修得する。

達成目標:

Excel を用いて, 統計処理ができる。

Excel を用いて, 実験データ等の表現方法が活用できる。

教科書:

超図解 Excel 2000 for Windows エクスメディア

すぐわかる EXCEL による統計解析, 内田治, 東京図書

参考書:

学習方法:

各自一台のパソコンで実施する。

予習-特に必要なし

授業-授業の最初に, 課題内容を伝え, その授業中に課題を提出する。そして, 操作方法など, わからないところを個人的に指導する。

復習-各自, 理解困難であったところは, 情報処理センターの空き時間を利用して, 教科書を確認しながら, 作業を繰り返すことによって, 修得すること。

学習保証時間:

100 分[時間/週] × 30[週/通期] = 3000 (分/年) = 50 (時間/年)

キーワード:

EXCEL, 統計処理, グラフ作成

授業内容:

1. 簡単な集計表の作成 2 週
2. セル操作のテクニック 3 週
3. 絶対参照と複合参照 1 週
4. 数値の表示形式 2 週
5. インターネットからのデータ取り込みと計算 3 週
6. 罫線、着色、パターン 1 週
7. グラフ、マップ、図形 3 週

前期試験

8. EXCEL を用いた基本統計量の処理 3 週
9. EXCEL を用いた平均値に関する解析処理 2 週
10. EXCEL を用いた相関分析の処理 2 週

- 11. EXCEL を用いた回帰分析の処理 3 週
 - 12. EXCEL を用いた応用物理計算の処理 2 週
 - 13. EXCEL を用いた建築構造力学計算の処理 3 週
- 後期試験

授業方法：

適宜課題説明を行い、課題を与える。

カリキュラム中の位置づけ：

この科目を学ぶために先行して理解する必要のある科目

情報処理 (2 年通年), 建築構造力学 (2 年通年)

この科目と同時に学ぶ関連科目

建築構造力学 (3 年通年), 応用物理 (3 年通年)

この科目の後に学ぶ関連科目

建築構造力学 (4 年通年), 応用数学 (4 年通年), 応用物理 (4 年通年), 建築実験 (4 年前期)

評価方法：

実習形式であるから出席点、レポート提出を 50 パーセント考慮する。

連絡事項：

学生へのメッセージ：

レポート作成や卒業研究等での利用頻度が高いので、目的意識をしっかりとって授業にあたってほしい。

= = = = =